

スポーツで地域交流

地区区民体育祭



▲中央地区



地域の交流と健康づくりを図ろうと、10月7日に市内各地で地区区民体育祭が開かれました。さまざまな種目に、子どもから大人まで大勢の人が参加。澄み切った青空の下、大きな声援と笑い声がグラウンドに響いていました。

干潟小が東総工高でパソコン教室

10月12日、干潟小学校の6年生が東総工業高校を訪れ、先生方に直接パソコンの操作方法などの指導を受けました。いつもは高校生を指導している先生方も相手が小学生とあっていつも以上に丁寧にわかりやすく指導。子どもたちも積極的に質問し、授業の終わりには一人ひとりのパソコンにかわいらしいイラストが完成しました。



▲先生の指導に子どもたちも真剣

日ごろの成果を発表

青年の家登録団体フェスティバル



▲軽やかなステップでダンス

青年の家に登録する団体が一堂に会し、日ごろの練習成果や活動の状況を発表する青年の家フェスティバルが、10月14日に青年の家体育館で開かれました。

ダンスや武道の演舞など9団体が参加した公開演技では、発表が終わるたび会場は大きな拍手に包まれました。また、2団体が出展した絵画や陶芸も訪れた人の目を楽ませてくれました。

交通安全チャリティーショー

9月24日、海上自動車教習所で行われた交通安全チャリティーショー。当日は、県警音楽隊の演奏のほか、シートベルト衝撃体験や自転車運転教室などさまざまなイベントが行われました。また、金魚すくいや模擬店、フリーマーケットなど1日中たくさんの親子づれでにぎわいました。



▲県警音楽隊の演奏

お囃子の競演！

「あさひのまつり」



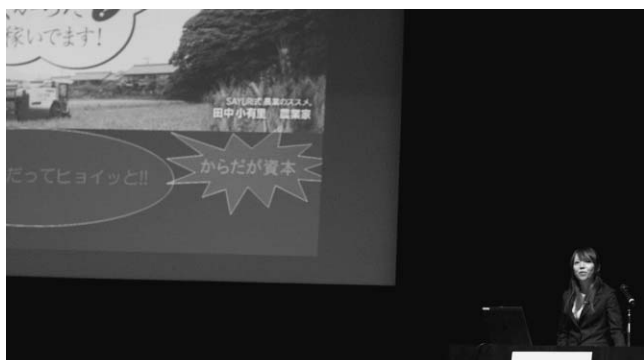
▲飯岡囃子 日の出会

市内各地で活動しているお囃子の団体が一堂に会して腕前を披露する「あさひのまつり」が、9月30日、東総文化会館で開かれました。参加した11団体は日ごろの練習の成果を発揮し、熱のこもった演奏を次々に披露してくれました。また、お囃子だけでなく、舞踊や神楽、健康体操などの披露もありました。

農業の魅力って何？

「東総耕地の将来像を考える研修会」

全国各地で魅力的な農業に取り組んでいる方を講師に招き、東総地域の農業をさらに活性化させようと、「第7回東総耕地の将来像を考える研修会」が、10月3日、東総文化会館で開かれました。滋賀県湖北町で20代の若さで116ヘクタールの大規模農場を切り盛りする(有)ニューファーム S A Y U R I 取締役の田中小有里さん、人口約1,200人の小さな村でゆず加工品を販売し30億円の売り上げを記録する高知県馬路村農協の代表理事組合長東谷望史さんが講演。会場に集まった農業者は、お二人の農業経営に対する姿勢や努力、苦労話などに熱心に聞き入っていました。



▲「農業は泥まみれ、というイメージをなくしたい」と話す田中小有里さん

ライオンズ 優勝

旭市秋季野球大会

9月2日から市内の36チームが参加して行われてきた秋季野球大会。10月7日に旭スポーツの森公園で行われた決勝戦は、昨年度この大会で優勝している「キャッツ」と古豪「ライオンズ」という好カード。最後まで緊迫したゲームが展開され、ライオンズが4対3のサヨナラで優勝を飾りました。

長寿をお祝い

100歳の高齢者を市長が訪問

今年市内で100歳を迎えるお年寄り8人に、市から長寿祝金と記念品、国から内閣総理大臣の祝状と記念品がそれぞれ贈られました。ご自宅や入所している施設に市長が訪問し、100歳の長寿をお祝いし、これからもお元気で過ごしていただけるよう激励しました。



▲奈良つ祿さん（米込・左から4人目）

小学生が手作り版画で交通安全を呼びかけ

秋の全国交通安全運動出動式



秋の行楽シーズンに合わせて、交通事故の防止を呼びかける秋の全国交通安全運動が、9月21日～30日に行われました。初日の21日には、旭駅前交通安全運動出動式が開かれました。その後、中央小・共和小・三川小の小学生が手作りした交通安全版画の絵はがきを市内の交差点で運転手さんに手渡しして、事故を起こさないで安全運転をしてくれるようお願いしました。

